

# ひまわり通信



# 日本共産党 市川市会議員 ひろた徳子

日本共産党控室  
市川市八幡1-1-1  
334-1111 (182)



2022. 10. 9

N083

主な項目を紹介します。

## 9月議会一般質問をしました

## 市の考え方を伺う。

○プラスチック資源について  
の本市の考え方について  
「プラスチック資源循環法」  
によって本市の対応はどう変  
わるのか  
　へ答弁』プラスチック資源循  
環法により、新たに製品プラ  
スチックを分別収集、資源化  
する場合には、現在より分別  
の種類が多くなり、市民の負  
担が増えることも想定される

～答弁～実施監査が必要と考  
えていた。今年度は、市内に  
ある約200ヶ所、全ての保  
育所等を対象に、実地監査を  
行うことを計画し、6月より  
開始した。しかしコロナ第7  
波により中止していた。10月  
からは施設に訪問できるよう、  
施設に対して日程の通知を行つ  
た。

他に、・保育士の待遇改善  
臨時特例事業について・公定

市の考え方を伺う。  
「答弁」実施監査が必要と考  
えている。今年度は、市内に  
ある約200ヶ所、全ての保  
育所等を対象に、実地監査を  
行うことを計画し、6月より  
開始した。しかしコロナ第7  
波により中止していた。10月  
からは施設に訪問できるよう、  
施設に対して日程の通知を行つ  
しました。

他に、・保育士の待遇改善  
臨時特例事業について・公定  
価格の引き上げについて質問  
しました。

## ○学校教育について

学期期間再編成プロジェクトの内容について伺う

答弁 市内市立学校の2学期開始を10日早めることで職員の負担軽減を図るとしたが教員や保護者の反対の意見を聞き、今回は取り下げた。

他に、・外国人児童への対応について・発達支援を必要とする児童生徒への対応について質問しました。

## ○保育行政について

○高齢者・障がい者への窓口  
サービスについて

人口5千人以上、高齢化率  
36・9%のハイタウン塩浜に  
出張窓口を開設する考えはな

**答弁** だれもが各種福祉サービスを円滑に利用できるよう、地域の方々と更なる連携を深め、地域ケアシステムの拠点をはじめ、自治（町）会の回覧板や掲示板の活用など、相談窓口や申請方法など分かりやすい周知に努める。

## 市に要望書を提出しました

8月31日、市民アンケートに寄せられた行動地域の要望を市に提出しました。



その他に、要望が多かつた信号機設置、速度制限など警察への要望は、別途検討しています。

市川市では、スマートホンのラインから『道路・公園等の破損箇所』の投稿が出来ます。危険個所はすぐに対応してもらうよう、私も投稿しています。活用してはいいがですか。

# 今年度の市内工事予定を伺う

8月17日、市議団と浅野県議候補、  
徳武、泉両市議候補と共に、千葉県  
葛南土木に行き、今年度の工事予定  
を聞きました。今年度は、これまで



国と浅野県議候補、  
補と共に、千葉県  
今年度の工事予定  
年度は、これまで  
の継続工事が多い  
印象です。私は市  
に要望した項目の  
うち、県道に係る  
内容、主に市川浦  
安線（バイパス）  
の歩道が狭い事、  
凹凸が多い事を要  
望書にまとめて提  
出しました。

## 9月議会で可決した主な議案

- ・ 納食費の無償化－公立中学校令和5年1月、公立小学校令和5年4月より。
  - ・ 地方公務員法等の改正を踏まえ、職員の定年を順次引き上げる60歳→65歳へ
  - ・ 下水道事業の安定的かつ持続的な経営を図るため、下水道使用料額の見直し
  - ・ 自転車の安全利用に関する一部改正（自転車損害賠償保険等への加入を義務付ける。また高齢者のヘルメットの着用するよう努めるなど）

追加議案

・電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金として、令和4年度の市民税均等割が非課税の世帯及び家計急変世帯等へ一世帯5万円を支給。要申請。全額国庫支出

地域コミュニティゾーンの愛称が市民の投票により決まりました。



「ぴあばーく妙典に決定



憲法に基づいた「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」は、すべての国民の権利です。

# 「生活と憲法」を学ぶ

9月24日、生活と健康を守る会など  
が主催し、田村陽平弁護士を講師とし  
た学習会に参加しました。10月25日  
(火)市川駅南口で行われる『なんでも  
相談会』に向けての事前学習会でし

## いちかわ市民ミュージカル



## 無料法律相談

次回11月8日(火)午後2時より  
市役所6F共産党控室にて

1人30分、事前予約が必要です。  
334-1111 内線18219  
までお電話ください。

ひとりごと：私が行徳に住み始めた40年前、街にはいくつものザリガニがいるようなな堀や池のような所がありました。先日、行徳旧道地域に住んでいる方とお話をすると、「東京大空襲で焼き出され、家族で、母の実家がある行徳に住み始めた」と。戦時中、弾薬が落とされた跡が40年ぐらい前までいくつもあつたと言うのです。もしかしたら私の記憶にある「あれ」がそうなのかな。

現在の行徳妙典地域はすっかり様変わりし、当時を知つていい人はどのくらいいるのでしょうか。東西線一本で、都心まで20分と大変便利なため、地方から来る単身赴任や学生が多い街でもあります。誰もが住みやすい街になるよう、私も日々頑張ります。